

センターに嬉しいおたよりが届きました

依頼会員
Nさん

平素より大変お世話になっております。
娘が習い事を続ける事ができたり、夜遅くなる仕事
が安心してできるのも協力会員様のおかげと感謝
しております。また、いつもきめ細やかな温かいご
対応して下さいます事務局の皆さまにも心より感謝
しております。

先日の運動会にもわざわざ協力会員様が観に来
て下さり、娘もとても喜んでいました。本当に嬉し
かったです。皆さまの温かいご支援を支えられ子育
てできることに心よりお礼申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

両方会員
Kさん

私は長男が6ヶ月の時に初めてむく
むくルールに通い始め、初めての子育てに全てが
新しく、わからない事だらけでしたが、先生方やお子
さん、お母さん方と関わる中で視野も広がり、特に先
生方にはいつも優しい笑顔と温かい言葉をかけてく
ださり助けていただいた感謝は今でも忘れません。

そんな長男も今では中学生、下の子も小学校に上
がり、必須講座を受けた事をきっかけに、私も何か
役に立てる事はないかと、思返しのつもりで協会員
に挑戦してみる事にしました。

初めてご依頼を受ける日が決まった時は、その日
を迎えるまでドキドキしましたが、私が子どもだっ
たらどうしてほしいかな〜、私が預けるとしたらど
うしてほしいかな〜、どんな遊びに興味があるかな
〜、と色々考えてみました。一緒に遊んだり、お話し
たりしていくうちに打ち解けてくれて、何よりも息子
や娘と遊んでいる時は、とても楽しそうに、兄弟の
ように過ごしてくれています。

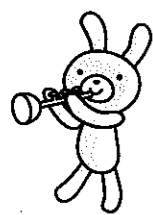
少しの時間でも人の役に立てているとしたら「幸
せ」となって自分に返って来ている気がします。

お互いが支えあいながら安心して子育てが出来、
誰もが幸せになれる事を心から願っています。



心温まるおたよりに感動しました。私たち事務局にまで
お言葉をいただき、これからも会員さんに寄り添って
出会いのお手伝いをさせていただきたいと思ひます。

初めて預けたり、預かったりされる時はみなさん緊
張されることと思ひます。いろいろと細かな配慮をいた
だきありがとうございます。どうかいい出会いとなり
ますように、楽しく過ごせますように、大切な思い
出となりますようにと祈りながら、これからもお手
伝いをさせていただきます。



会員の
みなさまへ

★登録内容に変更がある場合は(引越し、家族が増えた、お子さんが入園・入学したなど)、必ず
センターまでご連絡ください。

★一度も依頼をしていない協力会員さんがたくさんおられ、大変申し訳なく思っています。なに
ぶん依頼あつての調整となり、地域によっては依頼会員が少なく依頼のない場合もあり、また、
依頼内容や条件にあわなくてご紹介できない場合もあります。どうぞご理解いただきます
よう、よろしくお願いいたします。

会員
随時募集中!!

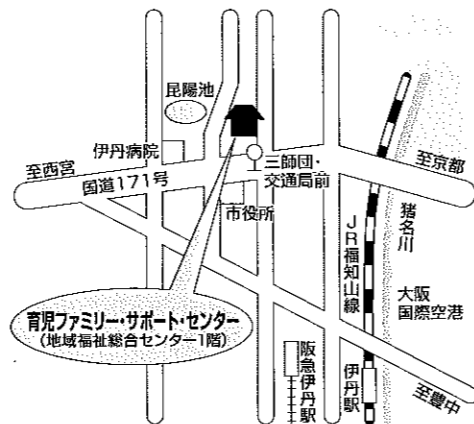
年々援助の輪が広がっておりますが、中にはまだ育児ファミリー・サポート・センター事業をご存知ない
方もいらっしゃると思います。今お近くに、支援が必要な方、また、今なら支援ができるという方がいらっしゃい
ましたら、このお便りと共にご紹介くださればありがたく思います。よろしくお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

伊丹市育児ファミリー・サポート・センター事務局

〒664-0014 伊丹市広畑3丁目1番地
伊丹市立地域福祉総合センター1階
(いたみいききプラザ)
TEL・FAX 072-772-4560

開館時間 午前9時～午後5時まで
休館日 日・祝日、年末年始
交通機関 JR伊丹駅または阪急伊丹駅から市バス昆陽里
行きで三師団・交通局前バス下車すぐ



育児ファミリーサポート便り

発行年月
平成29年12月

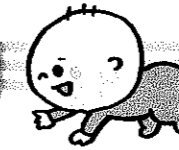
第42号

発行者：伊丹市育児ファミリー・サポート・センター

育児ファミリー・サポート・センターは、「育児の援助を
受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」がお互いに
会員になって、子育て中の人や働く人の家庭を地域で
支えるシステムです。



申込
随時



平成29年度 必須講座 第2回

「もう一度、あの先生の話をお聞きしたいな〜」という方のご参加もお待ちしております。

平成30年1月20日(土)	9:30~11:00	心の発達とその問題	こどもの障がいの種類や特徴について
●場所	いたみいききプラザ3階 会議室1	●講師	市こども発達支援センター 言語聴覚士
平成30年1月20日(土)	11:10~12:40	心の発達とその問題	障がいのあるこどもとの関わり方
●場所	いたみいききプラザ3階 会議室1	●講師	市こども発達支援センター 言語聴覚士
平成30年1月27日(土)	9:30~11:00	保育の心	育児支援者としての心構えと親子との関わり方について
●場所	いたみいききプラザ3階 会議室1	●講師	市保育課 保育士
平成30年1月28日(日)	9:30~11:00	安全・事故	事故対策講習会
●場所	いたみいききプラザ3階 会議室1	●講師	NPO法人C・キッズ・ネットワーク
平成30年1月28日(日)	11:10~12:40	子育て支援サービスを提供するために	実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について
●場所	いたみいききプラザ3階 会議室1	●講師	育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー
平成30年2月3日(土)	9:30~11:00	安全・事故	応急手当講習会
●場所	いたみいききプラザ3階 会議室1	●講師	西消防署 職員
平成30年2月10日(土)	9:30~11:00	こどもの栄養と食生活	こどもの栄養と食生活
●場所	いたみいききプラザ3階 会議室1	●講師	市健康政策課 栄養士
平成30年2月10日(土)	11:10~12:40	こどもの世話	こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり
●場所	いたみいききプラザ3階 会議室1	●講師	市健康政策課 保健師

▶要申込み ▶参加費は無料 ▶一時保育あり(1歳以上就学前まで) ▶託児料(1人300円2人目以降150円)

※事前に事務局にご連絡ください

お知らせ

平素より会員のみなさまには、育児ファミリー・サポート・センター事業に心温かいご支援とご協力、ご理解をいただきまして心よりお礼申し上げます。

当センターでは厚生労働省からお預かりをいただける協力・両方会員さんに対して必要な講習会として提示された24時間講習カリキュラムに基づき、平成27年度より取り組み、必須講座も3年目になります。おかげさまで66名の方が全受講していただきました。

おたより第37号において、平成27年3月31日以前に登録していただいた協力・両方会員さんは平成30年3月31日までに必須講座を全受講していただくようお知らせをしておりましたが、円滑な事業運営のために、期間を3年延長することになりました。よって、平成33年3月31日までに受講していただきますよう、どうぞよろしく願いたします。

※平成28年度以降に登録の協力会員・両方会員さまは必ず全部受講していただいてからのお預かりとさせていただきます。

平成29年度

スキルアップ講座

良い援助のための“聴く”技術を学ぶ 日時 平成30年3月7日(水) 10:00~12:00

- 講師 Felien(フェリアン)津村 薫さん
- 定員 30人(先着順) 託児 10人(先着順、要予約) 1歳以上就学前まで(1人300円2人目以降150円)
- 申込み 電話受付 市子育て支援センター TEL 771-1152
受付は平成30年2月2日(金)からです
- 共催 市子育て支援センター



平成29年度

講座の報告

41名の方が受講してくださり、13名の方に全受講していただき、修了証をお渡しいたしました。

必須講座(第1回)

平成29年 6月24日(土)

**こどもの世話
こどもが快適に過ごすための
必要なケアと環境づくり**

講師 市健康政策課 保健師 伊藤 典子さん

実際の大きさの赤ちゃんの人形抱っこ体験や、今と昔の子育て方法の違いを具体的に教えていただきました。うんちの色の写真や誤飲防止の目安の穴のあいたデザインもかわいい最新の母子手帳を驚いた表情でみなさん見入っていました。

平成29年 6月24日(土)

**こどもの栄養と食生活
こどもの栄養と食生活**

講師 市健康政策課 栄養士 前田 清香さん

ペットボトル飲料に含まれる砂糖の量や、食中毒についても詳しく教えていただきました。「ハッピーバースデー」の歌の長さが手洗いにちょうど良いということがわかり、早速みなさんで口ずさんで真似てみました。

平成29年 7月2日(日)

**安全・事故
事故対策講習会**

講師 NPO法人C・キッズ・ネットワーク

飲み込むものは片付ける、チャイルドロックをしたり、窓枠にストッパーをつけたりなど、事前の予防策をとる大切さを教えていただきました。また、こどもの視野体験をしました。

平成29年 7月8日(土)

**安全・事故
応急手当講習会**

講師 西消防署 職員

心肺蘇生法やAEDの使い方を、乳児・幼児・成人の人形を用いて実際に体験し、緊急時、その場にいる方がすぐにおこなうことが命を救うことになると教えていただきました。

平成29年 6月25日(日)

**心の発達とその問題
こどもの障がいの種類や特徴について**

講師 市こども発達支援センター 言語聴覚士 吉村 道乃さん

障がいの種類や特徴を具体的にわかりやすく教えていただきました。障がいがあるからできないのではなく、一人一人に合わせてできることから始めることが大切だということを教えていただきました。

平成29年 6月25日(日)

**心の発達とその問題
障がいのあるこどもとの関わり方**

講師 市こども発達支援センター 言語聴覚士 吉村 道乃さん

様々な事例をまじえながら、「簡潔にわかりやすく、具体的に伝える」ことが大切だと教えていただきました。

平成29年 6月2日(金)

子どもの笑顔のために家庭や地域ができること

講師 mottoひょうご 栗木 剛さん

子育て中は、自分の時間も持てず、達成感もなく、相談相手もない、将来の安心感も持てないことが多数見受けられるというお話をお聞きました。まわりや地域の方々が、そういう状況を知り、「大変やなあ」と共感することによって、子育て中の方が、「わかってくれる人がいる」と感じ安心することができ、笑顔でこどもと接することができるということを教えていただきました。

平成29年 7月1日(土)

**保育の心
育児支援者としての心構えと親子の関わり方**

講師 市保育課 西保育所 副所長 宮田 八千代さん

お顔合わせでは、はじめての出会い、打ち合わせをされるので大変だと思いますと言って下さり、ご自身の経験から、お預かりするにあたって大切にしている事(①こどもたちはみんな大切な宝である②親子の気持ちを受けとめ、協力会員が声に出してあげて関わる③とにかくいっしょに楽しむ)を教えてくださいました。

平成29年 7月1日(土)

**子育て支援サービスを提供するために
実際に活動を行うにあたっての手順やルール、
注意事項について**

講師 育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー

ファミリーサポートの制度や援助内容、補償保険についてお話をさせていただきました。「こんな時どうする?」では、みなさん積極的に「安全かなあ...」「大丈夫かなあ...」と考えてくださいました。

平成29年 9月2日(土) 9月9日(土)

**こどもと向きあうために(あそび編)
こどもと向きあうために(かかわり編)**

講師 NPO法人生涯学習サポート兵庫 榎本 英樹さん

初対面同士の参加者が、先生の手遊びやゲームを通してすぐに打ち解け、部屋中、笑い声が響き、熱気に包まれていました。かかわり編では、身近なものを使ってできる手品やおもちゃや向きあい方で、こどもの心がパカッとひらき、私たち大人のことを、「すごーい」と思ってくれることを教わり、参加者は、驚き、感動されどどん目が輝いておられました。後日、早速家でやってみましたという声が届きました。